

平成 26 年度事業報告書

平成 26 年 7 月 1 日から平成 27 年 6 月 30 日まで

特定非営利活動法人 カーボンシンク

1 事業実施の方針

平成 24 年度に定めた 5 つの事業方針に基づき、今年度も事業を実施した。

方針 1 : 「カーボンシンクが生み出した “つながり”」

過去の活動において、カーボンシンクは多くの事業において、様々な “つながり” を生み出してきた。ミッションである「低炭素社会の実現」に向けて、さらに多様かつ有効な “つながり” を見出し、事業化することを目指した。

方針 2 : 「新たなテーマへの展開」

滋賀県や県内企業団体が重要テーマに掲げる「水環境ビジネスの推進」においては、企業シーズと現地ニーズのマッチングが必要不可欠であり、カーボンシンクが新たな役割を得る可能性が高い。

低炭素社会の実現に向けた、CO2 削減・省エネに続く新たな重点テーマとして「水・湖沼」に着目し、①適正技術・中間技術のものづくり、②コミュニティ開発による地域自立などを実現すべく、台湾、台南市を中心として県内企業との協働によるプロダクト・サービスづくりを行った。

方針 3 : 「新たな活動を見出すこと、知名度を拡大すること」

持続可能な社会づくりに向けた課題や将来像を共有する機会を増やすなかで、カーボンシンクの新たな活動方針を見出す。さらに、ホームページ、省エネガイド等のツールを活かすとともに、企業向けのセミナー等に参画し情報発信に努め、カーボンシンクの知名度拡大を目指した。

方針 4 : 「事務局体制の再構築」

事業の円滑な実施には、事務局体制の再構築が不可欠である。特に水環境ビジネス分野における対応が可能な人材の発掘と雇用を進めた。

方針 5 : 「企業会員の獲得」

水環境ビジネス等で関係構築の進む企業を中心に、会員獲得を進めた。

(1) 「特定非営利活動に係る事業」

「低炭素社会実現に向けた事業の企画立案及び実施」

① 台湾水環境ビジネスコーディネートの実践

水環境ビジネスにおいて、県内の中小企業がもつ技術シーズと、途上国の現地ニーズをマッチングさせ、持続可能な技術・ものづくりに特化した事業を生み出した。

滋賀県の台湾事業に関する支援が平成 27 年 1 月に終了するため、さらに、継続的な支援を求めて滋賀県、台南市政府、参画事業者等に働きかけを行ったが、具体的な成果を得るには至っていない。

また、台湾案件が成立した(株)堀場製作所や、チーム台南の参画企業である大洋産業(株)と関係強化を進め、アジアの他地域展開について情報共有を行った。

② 低炭素型社会構築に向けた技術開発支援

台南市や現地カウンターパートとの連携をいかして、水環境への負荷低減をテーマに、企業との技術開発に取り組んだ。なかでも、河川環境の自然再生型整備については、台南市内河川や新竹市内河川において、提案活動を実施することができた。

新竹県は台湾北部に位置し、長浜市との経済交流を進めている。新竹県側の窓口となっている福慧園實業股份有限公司／新竹縣區語言暨文化資源發展協會（しんちくけんくごげんきぶんかしげんはってんきょうかい）とは、平成27年4月に「経済・産業・文化・教育交流等の連携と協力に関する覚書」（別紙参照）をカーボンシンクと締結して、関係強化を進めた。

「低炭素社会実現に向けた市民啓発・情報提供」

① 環境トークサロン事業「Motto エミコロジー ～暮らシンキング!～」など

今年度は、代表理事の長期的な海外出張に伴い、休止とした。

② 関係イベントなどにおける情報発信

しが水環境ビジネス推進フォーラムや環境ビジネスメッセなどを通じて、広く台湾プロジェクトの活動に関する情報を発信した。

○しが水環境ビジネス推進フォーラム（平成26年7月）

・参加企業20社程度、チーム台南への新規登録企業2社獲得

○環境ビジネスメッセ（平成26年10月）

・参加企業100社程度、事業内容の問い合わせ複数社

(2) 「その他の事業」

「低炭素社会実現に向けた事業の企画立案」

特になし

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出予定額(千円)
低炭素社会実現に向けた事業の企画立案及び実施	①水環境ビジネスのコーディネート基盤強化	通期	滋賀県内	3名	滋賀県内外20社程度 台南市行政ならびに企業	22,601
低炭素社会実現に向けた市民啓発・情報提供	②関係イベントなどにおける情報発信	通期	滋賀県内	2名	滋賀県内外100社程度	0

(2) その他の事業

特になし